

平成21年度 川崎市井田老人デイサービスセンター及び井田老人介護支援センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 和楽会 (川崎市高津区千年141-2)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	ア 通所介護事業 定員:40人/日 イ 居宅介護支援事業 ウ 老人介護支援センター(地域包括支援センターの業務の一部として実施)

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	21年度管理運営の状況	評価及び指導																																						
(1) 管理業務の実施状況																																								
① 施設・設備の維持・管理に関する業務	市立井田病院に併設していることから、院内にある管理部門において設備の保守・点検を行っている。また井田デイサービスセンターの業務で日常的に使用する機器については(入浴機器、厨房機器等)、保守点検を委託して行っている。また、館内の清掃は営業時間は職員が行い、清掃業者による床清掃を2ヶ月に1回、実施している。 【主な委託業務の内容】 清掃業務、調理業務、リネン交換業務、介護保険請求 など	施設及び設備に関わる維持管理業務については適正に行われていると評価できる。 今後においても、効果的な施設・設備の管理を行うことや、万が一、不具合が発生した際には、利用者への影響を最小限に抑えるように対処するよう指導していく。																																						
② 介護サービス提供への取組	ケアマネジャーからの依頼に基づき、共通帳票を元に利用者宅を訪問し、通所介護計画書を作成、利用者及び家族のニーズに応じたサービスの提供ができるように努めた。食事については、月に1回委託業者と給食会議を開催し、献立内容や衛生管理の検討を行った。 また、相談員及び職員間で専門的な立場に立ち、通所介護計画書を作成し、一年毎の見直し及び利用者の身体機能の変化等による通所介護計画書の変更を実施した。 さらに、利用者、家族等へアンケート(満足度)調査を行い、その結果から得られた意見等の問題を定例自主会議にて対策を検討し、安心できる介護サービスの維持、利用者満足度の向上に努めた。	利用者のニーズを尊重し、利用者の立場に立ったサービス提供を行っている評価できる。 また、利用者及び家族からの意見の把握を目的としたアンケート(満足度)調査を毎年行っており、その結果からサービス向上に向けた取り組みをおこなっていることは評価できる。 今後においても、利用者本位のサービス提供を実施するよう指導していく。																																						
③ 利用者の安全管理	法人主催のISO検討委員会にて行われているリスクマネジメントの勉強会、外部研修に参加をし、未然に防げる事故への対応を学ぶと共に、インシデント・アクシデントレポートを評価し、今後の事故防止のための対策を実施している。また、事故が発生した場合の報告体制は、家族、医療機関、法人、市町村への報告、事故対応・災害時マニュアルにて対応している。実際の事故については、ミーティングで今後の対応を検討し、再発防止に努めた。また、月一回の代表者会議においてリスクマネジメントの勉強会を行い、事故予防、再発防止に努めた。	利用者の安全のために、事故発生防止に努めるほか、実際に事故が発生した場合には、大きな被害とならないよう適性に対処するよう指導していく。																																						
④ 職員教育、研修の状況	職員の知識・技術の向上のため、資格取得を奨励している。年間研修計画を策定し、それに伴い職員研修を実施している。また、年1回自己評価を行うことによって、自己の技術・知識・仕事に対する心構えを見直す機会を設けている。 【内部研修の内容】 「業務改善について」 「利用者の理解と生活支援」 「認知症の方の対応」 【外部研修内容】 「利用者の理解と生活支援」 「地域リハにおける連携」 「ファシリテーションとリーダーシップ」	職員の知識、技術向上の取り組みが施設等の運営に必要不可欠であることから、今後においても積極的に研修を行うなど、職員の資質向上に力を入れるよう指導していく。																																						
(2) 利用状況																																								
① 利用状況について	ア 通所介護事業 通所定員:40人 年間延べ利用者数 6,444人 月別延べ利用者数 <table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>500人</td> <td>487人</td> <td>537人</td> <td>566人</td> <td>518人</td> <td>555人</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>560人</td> <td>571人</td> <td>530人</td> <td>533人</td> <td>509人</td> <td>578</td> </tr> </table> 定員に対する稼働率 63.2% イ 居宅介護支援事業 介護度別給付管理者数(平成22年3月分) <table border="1"> <tr> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>22人</td> <td>24人</td> <td>16人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>73人</td> </tr> </table> ウ 老人介護支援センター(地域包括支援センター) 老人介護支援センターは、地域の老人の福祉に関する相談援助や市町村等との連絡調整、その他必要な援助を行うもので、従前は在宅介護支援センターとして活動していた。地域の相談支援窓口となることから指定管理者の業務の範囲としているものだが、平成18年4月からは、制度改正で新たに創設された地域包括支援センターの業務の一部として、別途委託事業によって実施している。	4月	5月	6月	7月	8月	9月	500人	487人	537人	566人	518人	555人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	560人	571人	530人	533人	509人	578	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	22人	24人	16人	6人	5人	0人	73人	通所介護事業の利用状況において、昨年度と比較して稼働率が横ばいであり、定員40人に対して、1日平均25人という状況にあるため、安定した事業運営に向けて、さらに高い利用率となるよう指導していく。 老人介護支援センターは、別途委託をしている地域包括支援センターの業務の一部として実施されているものであるが、地域住民の直接的な相談支援窓口となることから、更なる充実を図るよう指導していく。
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																			
500人	487人	537人	566人	518人	555人																																			
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																			
560人	571人	530人	533人	509人	578																																			
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																																		
22人	24人	16人	6人	5人	0人	73人																																		
② 行事の実施状況	年間を通して様々なイベントを計画しており、利用者が楽しめるような年間行事を実施している。 【主な行事】 お花見、誕生会、外気浴、運動会、七夕、納涼祭、おやつ作り、菊花展見学、クリスマス会、もちつき、節分、ひな祭り など	利用者の満足度を向上させるため、様々な取組みを行っていることが評価できる。 今後においても、利用者の意見を積極的に取り入れ、新しい行事を検討するなど、積極的なサービスの提供に努めるよう指導していく。																																						
(3) 収支状況																																								

評価項目	21年度管理運営の状況	評価及び指導																		
① 収支状況について	<p>ア 収入の状況（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66,298,540</td> <td>10,625,533</td> <td>76,924,073</td> </tr> </tbody> </table> <p>指定管理委託料はなく、介護報酬と利用者負担金を指定管理者の利用料金収入として収受して運営している。 地域包括支援センターについては、指定管理者に対する委託事業ではないことから、ここでは計上していない。</p> <p>イ 支出の状況（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72,635,220</td> <td>7,352,785</td> <td>79,988,005</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業運営に必要な人件費・事務費・事業費として支出されたものである。</p> <p>ウ 決算(収支差引)の状況（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-6,336,680</td> <td>3,272,748</td> <td>-3,063,932</td> </tr> </tbody> </table> <p>通所介護事業において、支出額が収入額を上回る結果となった。</p>	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	66,298,540	10,625,533	76,924,073	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	72,635,220	7,352,785	79,988,005	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	-6,336,680	3,272,748	-3,063,932	<p>通所介護事業において支出額が収入額を上回っており、施設全体としても支出額が収入額を上回る結果となっている。 今後においては、通所介護事業の稼働率の上昇に努めるとともに、居宅介護支援事業についても更なる利用者の獲得に努め、安定的な運営を図ることを指導していく。</p>
通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																		
66,298,540	10,625,533	76,924,073																		
通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																		
72,635,220	7,352,785	79,988,005																		
通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																		
-6,336,680	3,272,748	-3,063,932																		
(4) その他																				
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>苦情の相談窓口を設置し、相談内容の確認、事実の確認を行い、敏速に誠意をもって対応した。</p>	<p>今後においても、サービスの質の向上に向け、利用者からの意見、要望、苦情等への適正かつ迅速な対応を指導していく。</p>																		
② 個人情報の保護	<p>法人でのマニュアル(ISO規格による個人台帳、パソコン等の個人情報が含まれるものの取り扱い)に従い管理を行っている。</p>	<p>個人情報の取扱いは、施設全体で共通認識を図ることが重要である。今後についても、個人情報保護の取組について適正におこなうよう指導していく。</p>																		

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

管理運営、事業実施については、適正に実施されていると評価できる。また、アンケート(満足度)調査で「非常に満足」「満足」が80%であり、利用者満足度が高いことについては良好であると評価できる。しかし、収支状況が施設全体として支出が収入を上回る状態であり、通所介護事業の稼働率の上昇に向けて検討することが求められる。

4 平成22年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

施設も開設から12年目を迎えており、設備関係等の不具合が予想されることから、万が一の際に、迅速に対応できるよう適正な施設の維持・管理に努めるよう指導していく。
また、公設施設においては、他の民間施設の模範となることが求められていることから、一段高い水準のサービス提供が可能となるよう、より一層の努力を指導していく。